

鯨社協だより 2014.9.25 発行

ふれあい



この広報誌『ふれあい』は皆さまから頂いた社協会費及び青森県共同募金会からの配分金で作成しております。

～じぶんの町を良くするしくみ～



赤い羽根共同募金



赤い羽根共同募金は、法律（社会福祉法）に基づく募金として昭和22年から始まりました。第68回目となる今年も10月1日～12月31日までの3か月間、各都道府県単位で全国一斉に行われます。皆様の温かいご理解とご協力をお願い申し上げます。

※毎年、針タイプの赤い羽根を皆様にお届けしておりましたが、全国的に納期が遅れており県内ではシールタイプの赤い羽根で対応することになりましたのでご了承ください。



鯨ヶ沢町での募金活動について



- 毎戸訪問**：鯨ヶ沢町共同募金委員会より委嘱を受けた募金ボランティアがご家庭を訪問し募金活動をおこなっています。
- 町内会より納入**：町内によっては町内会より一括納入いただいています。
- 募金箱設置**：店頭や企業等の協力を得て募金箱を設置し募金を呼びかけています。
- 職場訪問**：鯨ヶ沢町共同募金委員会及び鯨ヶ沢町社会福祉協議会の職員が職場を訪問して募金活動をおこなっています。
- 学校募金**：鯨ヶ沢町教育委員会を通じて、各小中学校のボランティア担当の児童・生徒が中心となって募金活動をおこなっています。

発行・編集 社会福祉法人 鯨ヶ沢町社会福祉協議会

鯨ヶ沢町大字舞戸町字後家屋敷9番地4 鯨ヶ沢町総合保健福祉センター内

TEL 82-1602 FAX 72-5804

共同募金の使いみちについて



- ボランティア推進校活動費：小中学校にボランティア活動費として助成し福祉への取り組みを支援します。
- 地域福祉推進大会：年1回福祉功労者や小中学校のふくし作文・絵の表彰を行い地域福祉における活動や実践報告の場として開催します。
- わかりやすい福祉情報の提供事業：社協の役割や事業、社協支部の活動内容を紹介し福祉啓発の推進を図るための広報活動として社協だより「ふれあい」とホームページを活用し情報提供します。
- ほのぼの交流事業：児童・生徒を対象とした福祉教育モデル事業を支援します。
- ボランティアセンター事業：非常時の整備として活動に必要な機材を購入し機能の充実に努めます。

寄せられた善意の募金は、青森県共同募金会に全額送金します。その後、青森県共同募金会配分委員会の審査を経て県内の社会福祉協議会・社会福祉施設・団体に配分されます。また、災害見舞金や災害時のボランティア活動の支援に役立てられます。



第18回鯡ヶ沢町地域福祉推進大会を開催します

今年も「住み慣れた地域の中で誰もが安心して暮らせるまちづくり」を大会スローガンに次の日程で開催します。鯡ヶ沢町にお住まいの方であれば、どなたでも参加できますので、お気軽にお立ち寄りください。

- 日 時：平成26年11月30日（日） 午前9時30分～
- 場 所：舞戸公民館 大ホール

☆『ふくし作文、絵のコンクール』の表彰と町社会福祉協議会会長表彰もおこないます☆



鯉ヶ沢町社会福祉協議会支部活動の紹介（ふれあい訪問）

～住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために～

鯉ヶ沢町社会福祉協議会の支部活動に、ひとり暮らし高齢者等への訪問活動「ふれあい訪問」があります。これは、日頃の生活に困りごとはないか、訪問中の、なにげない会話や状況をつうじ、生活の様子を気にかける活動です。



今年度から、支部活動でおこなうふれあい訪問の対象に75歳以上の高齢者のみ世帯も加わり、訪問活動によるふれあいの輪がひろがっています。訪問には、西海小学校、舞戸小学校の児童による、心のこもった一言メッセージとともに、生活に役立つグッズ（懐中電灯^{かいちゆうでんとう}など）もお渡ししていますが、受け取った皆さんから「元気がでる」「ありがとう」などの声と笑顔が見られ、和やかに会話が弾むきっかけとなっています。

さて、「住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続ける」には、介護保険などの福祉サービスを充実させていくだけではなく、地域の中で支え合えるしくみづくりを進めていくことも大変重要になります。

今回紹介したふれあい訪問は、自宅を訪ねて生活の様子を気にかけるものですが、自宅を訪ねなくても、地域住民誰もが無理なくできる支え合いもあります。それは「あいさつ」と「声かけ」です。近所でばったり会ったときに「おはよう」や「どうしてら～？」と話す「見守り」という支え合いです。この積み重ねは、お互いにつながりを実感し合えるような地域づくりに結びついていきます。支部活動としてふれあい訪問はおこなっていきませんが、地域のみんなでさりげない見守りもすすめていきましょう。

ほのぼの道場からお知らせ

身近に福祉活動とはどんなことか感じてもらい、思いやりの心を育み、お互いを助け合う気持ちを体験してもらいたく実施いたします。

活動内容：デイサービスなどで高齢者及び障がい者との交流

福祉体験（障がい者スポーツ・高齢者疑似体験・自宅訪問など）

●対象者：町内の小学校に通学する1年生～6年生

●開催期間：平成26年12月22日（月）～平成27年1月14日（水）

※土・日曜日及び年末年始を除く（12月31日・1月1・2日）

●時間：午前9時00分～午後4時00分（送迎を希望する場合）

※ご家族さまが送迎する場合、午前8時～午後5時まで可能

●費用：300円（送迎・昼食代含む）/1日

※お申込み時に別途保険料がかかります。

●定員：20名（定員を超えて申込みがある場合は先着順）

●申込期間：平成26年10月20日（月）～12月12日（金）

●申込方法：社協窓口（鯉ヶ沢町総合保健福祉センター）に備え付けの申請書にご記入のうえお申込み下さい。（午前8時～午後5時）



空き缶・ペットボトル収集状況のお知らせ

リサイクル事業を通じ美しい環境と資源を残すことで、少しでも地域に貢献できるよう福祉活動へ役立てられています。

社会福祉協議会正面玄関横に収集所を設置しておりますのでご協力をお願い致します。

H26年5月～8月末	重量（おもさ）
空き缶（アルミ） （スチール）	2,380キログラム
ペットボトル	680キログラム
合計	3,060キログラム



善意の窓



【平成26年5月16日～8月31日までにご寄付を頂いた方々です】（敬称略・五十音順掲載）

【古切手】 鯉ヶ沢保育所 石岡千枝 大和田すずらん会 大川春江 工藤美保子 古川雅 齊藤ツエ 杉原勇
（有）神建設 （有）山田住建 匿名

【プルタブ】 総量75.7kg

鯉ヶ沢町役場 鯉ヶ沢保育所 鯉ヶ沢支部 赤石婦人会 石岡晴夫 一戸シゲ子 一戸フミエ 伊調好貴
岩谷せつ子 大和田すずらん会 小笠原四季 大館颯馬 大柿幹子 兼平真衣 葛西喜美子 加藤由美子
加藤志織 安心住宅 木村義秋 工藤ツナ 工藤美保子 西海企業グループ 齋藤ふじ子 齊藤リヨ 齊藤京子
齋藤与惣市 境敏美 坂本ヒサ 笹木カツ 澤田賢治 センター濱未来 高橋淳 高橋精治 田中誠
田中麻利子 滝吉孝之 地域活動支援センターやすらぎ 對馬光子 釣町ひまわり会 野呂信一 花田柚月
花田風沙 花田さつ子 本間させ 本間サツエ 本庄美也子 東日本架線工業 見崎あい 八熊悦子 （有）工藤
満建設 （有）神建設 （有）山田住建 舞戸ふれあいの会 丸正運輸 山下キミ 山屋キョウ子 匿名